

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野防災センター
施設所管課・担当	消防局予防部予防課地域防災
条例上の設置目的	災害に関する知識及び防災技術の普及向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時における応急活動の拠点としての役割
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関する教育及び指導 ・ 地震その他の災害及び防災に関する資料及び装置の展示 ・ 各種行事の開催などの施設活用業務 ・ 貸室運営業務及び施設総合管理
成果指標	来館者数の多い3か月における平均来館者数 / 利用者満足度
数値目標	12,500人以上 / 80%以上
指定管理者名	一般財団法人大阪消防振興協会 ノムラテクノ株式会社大阪支店 ジェイ・アクシス株式会社
指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日
評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	12,500	80%
年度実績	12,272	98.0%
達成率	98.2%	122.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	100,663	88,421	12,242
稼働率	81.9%	80.8%	1.1%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	93,237,962	93,166,000	-151,423	
	計画	93,389,385	93,439,385		
利用料金収入	実績	-	-	-	-
	計画	-	-		
その他収入 (自主事業収入)	実績	346,266	189,928	-303,734	消防防災グッズの売行きの低下
	計画	650,000	600,000		
合計	実績	93,584,228	93,355,928	-455,157	
	計画	94,039,385	94,039,385		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	68,167,989	66,039,140	6,318,298	指定管理契約時と現在の最低賃金の差異及び管理職員数の増加
	計画	61,849,691	61,849,691		
物件費	実績	36,273,601	36,082,246	-7,068,477	水道光熱費、消耗品費及び管理費の按分比の見直しによる削減
	計画	43,342,078	43,342,078		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	91,755	180,419	-44,325	
	計画	136,080	136,080		
合計	実績	104,533,345	102,301,805	-794,504	
	計画	105,327,849	105,327,849		

令和元年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
平均来館者数12,500人以上	98.0%	B	リニューアルオープン及び新型コロナウイルス感染症対策のため防災体験学習エリアを2か月閉館できなかったことが影響している
利用者満足度80%以上	122.5%	S	当該施設のリニューアルにより体験コーナーの魅力が上がったことや指定管理者の来館者対応が良好なことが反映されている

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
委託料については、平成27年～平成30年度までと比較しても低い金額となっており、市費の縮減が図られている。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	施設、設備等に不具合が発生すれば遅滞なく大阪市に連絡があり、来館者の満足度が低下しないよう適切に維持管理を行っている
事業計画の実施状況	S	事業計画どおりに定期的にイベントや防災特別展等の自主事業を開催している。また、成果指標の数値でも表れているように、来館者数や体験者の満足度が高い。
施設の有効利用	A	地域との連携や他機関とも協働し、施設を有効活用している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	障がい者の法定雇用率が達成できていないため、早急に改善するよう指示。

5 利用者ニーズ・満足度等

防災体験学習エリア及び防災研修訓練エリア体験者に対して、体験コースの最後にアンケートをお願いする方法で実施。回答者数1,686人のうち「体験したことを自分で職場や家庭で生かしたい」の質問に対して『はい』と答えた体験者の割合にあつては1,651人の98%となっている。

6 外部専門家意見

<p>平成31年4月のリニューアルに伴い施設全体としての魅力が増し、年間来館者数及び利用者アンケートなど概ね目標を達成したことを高く評価したい。コロナ禍の中、当面来館者増を見込みにくいと、現在順次実施している動画配信などをさらに充実し、将来の来館者増につなげて欲しい。</p> <p>昨年度の情報バリアフリーに係る意見を汲み取り、聴覚障がい者用の字幕追加や遠隔通訳システムの導入に反映させている点を高く評価する。新型コロナウイルス禍のため、阿倍野防災センターの運営自粛等制限下にもかかわらず、3月の防災研修ゾーンの利用者数が2000人を超えている。安全管理の下、混乱なく効率的に業務に専念できたのは指定管理者のこれまでの経験の蓄積とノウハウの結果である。</p> <p>今後も刻一刻と状況が変化の中で正しい情報を更新・開示し、来館者が安心して学び楽しめる居場所を提供すると同時に、新型コロナウイルス禍での地震災害や風水害といった「ハイブリッド型」の防災・減災の事業展開を期待する。</p>
--

令和元年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	リニューアルに伴い施設全体としての魅力が増し、年間来館者数及び利用者アンケートなど概ね目標を達成している。
市費の縮減	B	委託料については、平成27年～平成30年度までと比較しても低い金額となっている。また、水道光熱費、消耗品費及び管理費の按分比の見直しにより市費の縮減が図られている。
管理運営の履行状況	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、防災体験学習エリアが使用できない期間も動画配信等を行いサービスの向上に努めている。また、昨年度の情報バリアフリーに係る意見を汲み取り、聴覚障がい者用の字幕追加や遠隔通訳システムを導入している。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	指定管理者として施設の設置目的や大阪市の施策（市民防災研修推進プラン）に沿った管理運営を行っており、市費の縮減策・利用者のニーズに合わせたイベントや企画展を実施し利用促進策及び積極的な広報活動を実施し、来館者数及び満足度等についても概ね成果指標を上回り、事業計画で想定した以上の効果を得ている。